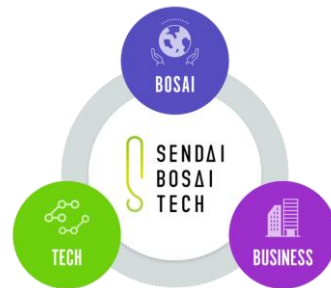


【第2部 仙台市主催】
- G7仙台科学技術大臣会合開催記念 -
仙台BOSAI-TECHセミナー



概要

仙台市が運営する「仙台BOSAI-TECHイノベーションプラットフォーム」は、産学官金連携により、防災×テクノロジー×ビジネスを融合した防災課題に対する新たな解決策を持続的に生み出す場です。本セミナーでは、仙台市沿岸部で導入された自律型津波避難広報ドローンの実装事例の紹介や、先端テクノロジーの防災への活用を図る当プラットフォーム会員企業・団体によるセミナーを実施します。

プログラム

1. 仙台市津波避難広報ドローンの実装事例
2. 先端テクノロジーを防災へ企業間連携促進ピッチャー

講演テーマ（仮題）

- **仙台市危機管理局危機対策課**
「仙台市津波避難広報ドローンの実装事例」
課長 佐々木 朝一郎
- **国立研究開発法人情報通信研究機構（NICT）**
「レジリエントICT研究と成果展開」
レジリエントICT研究センターシニアマネージャー
菅 俊恒
- **NTTコミュニケーションズ株式会社**
「データドリブンな防災・減災の取り組みについて」
B S本部 スマートワールドビジネス部
石間 裕基
- **Symmetry Dimentions Inc.**
「デジタルツインと防災」
CEO / Founder
沼倉 正吾
- **MetCom株式会社**
「『高さ』のリアルタイム判定で防災に貢献」
取締役
荒木 勤
- **エリクソン・ジャパン株式会社**
「防災、減災への占有ネットワーク適応の可能性」
執行役員 エンタープライズ・ビジネス事業本部 本部長
島袋 拓朗
- **サイトセンシング株式会社**
「ドローンの自動飛行を可能にする取付け装置『GeoPack』」
代表取締役社長
平林 隆
- **AZUL Energy株式会社**
「『AZUL触媒』を利用した非常用バッテリーの開発」
代表取締役
伊藤 晃寿
- **東北大学災害科学国際研究所（津波工学）**
「普段使い可能な津波避難誘導アドバルーンの開発～逃げ遅れゼロを目指して～」
東北大学大学院工学研究科 博士前期課程1年
成田 峻之輔

参加方法

以下URLまたはQRコードより事前登録（現地、オンライン選択可）

<https://forms.office.com/r/uL8EhHSSCT>

※第一部内閣府主催セミナーと同一の登録先になります。登録期限2023年2月6日(月)18:00まで。



国立研究開発法人情報通信研究機構（NICT）

東北大学片平キャンパス内に「レジリエントICT研究センター」を設置し、大規模災害や障害等の様々な事象によって引き起こされる急激な変化にも対応可能なレジリエントICTの研究開発とその成果の社会実装に向け、総務省、東北大学、民間企業等と連携して活動に取り組んでいる。

NTTコミュニケーションズ株式会社

仙台市と連携協定を締結し、「防災・減災」、「近未来技術の実証」、「地域活性化」を骨子として社会課題解決に向けた様々な取組や実証実験等を行っている。パートナーとの協業を通じて新しい技術・発想を取り入れることを目指している。

Symmetry Dimentions Inc.

空間や都市における人流、交通、IoT、BIM/CIMなど様々な種類のデータをプラットフォーム上で統合、解析することで、簡単にデジタルツイン上での仮説・検証・計画を行えるようにする取組を行っている。

MetCom株式会社

GPSの「屋内・地下・高さ」問題を解決し、まち全体をカバーする位置情報インフラの構築・運用を行う。自治体だけではなく、システムインテグレーション、アプリ開発、データ分析、通信など様々な分野のパートナーと連携して社会実装に取り組むことを目指している。

エリクソン・ジャパン株式会社

モバイルネットワークの主要提供メーカーとして、ミッションクリティカルなIoTサービスの実現と提供、5Gエリア基盤整備の拡充に寄与するソリューションの提供、Beyond 5Gに向けての取組強化を視野に研究開発活動等を行っている。

サイトセンシング株式会社

ドローンの自動飛行/撮影による現地現況リモート把握・被災現況のリアルタイム把握といったテーマで防災・減災に関する取組を行っており、ふくしまベンチャーアワード2021で特別賞受賞、東京都5Gプロジェクト(正式名称：Go Beyond Dimensions Tokyo)に採択されている。

AZUL Energy株式会社

東北大学材料科学高等研究所で創出されたレアメタルフリーの触媒技術「AZUL触媒」を次世代エネルギーデバイスとして期待される燃料電池、金属空気電池に応用することを目指す。ドローンの航続時間を飛躍的に伸ばすことが可能な軽量・高容量のドローン用バッテリーの開発も行っている。

東北大学災害科学国際研究所（津波工学）

東日本大震災の翌年に設立され、防災・減災に関する様々な専門家が集まり学際的な研究と社会で実践的できる取組を行っている。国内外の関係機関と連携しており、仙台防災枠組を支援する取組として防災ISOなどの活動も展開している。